

崎山さんの うらそえ おすすめスポット

【伊太利食堂 ナポリナト】

牧港の町角にある小さなバー。店内は、イタリアはナポリの港町にあるバーの雰囲気をイメージし、料理はイタリア料理と沖縄の食材を使ったヨーロッパ料理が中心で、お手頃なワインから世界ビールの他、様々なお酒を取り揃えています。



1 見た目も味も楽しめるメニューがいっぱい。2 外観も港町の雰囲気です。3 店内もおしゃれな雰囲気です。



ローマ風
カルボナーラ▶
900円

濃厚なクリームが
やみつきになる一品です。



店舗情報

- 住所／浦添市牧港2-34-19
- 電話／☎(877) 8082
- 定休日／日・火曜日
- 営業時間／午後6時～午後11時ラストオーダー
- 公式サイト

<https://www.facebook.com/barnapolinato>

テイクアウトも
あります



“うらそえWORKER” 募集しています！

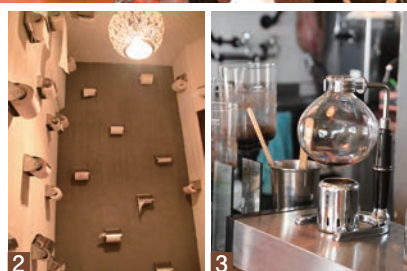
あなたの周りのうらそえWORKERを募集中です。自薦・他薦は問いません。メールまたはハガキに氏名、年齢、職場名、連絡先、PRポイントを記入の上、国際交流課広報応募係までお送りください。

【送付先】
〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
E-mail:kouhou@city.urasoe.lg.jp

▼応募フォーム



1 カウンター越しに気さくに話してくれます。2 どこかわかりますか？そう、トイレです。3 リラックスして欲しいという思いが込められたこだわりサイフォン式コーヒー



仕事もプライベートも含めた、人生楽しむ秘訣！

崎山さんに3つの質問

Q1

リラックス方法は何ですか？

A

本当はまとまった休みがあれば海外旅行をしたいのですが、映画を観て現実逃避したりしています。何も考えずに海を眺めたり、お店の新商品の研究も兼ねて食べ歩きをすることもあります。

Q2

ご自身の長所は？

A

人と打ち解けるのは早いほうかもしれませんが、何事も臆せずに行き移す行動力もあるほうだと思います。世界一周をした頃は、言葉が通じなくても、世界共通のジェスチャーで会話(?)をしてきました。先のアラブの体験のようにやってみないとわからないことも多いと思います。

Q3

夢があるそうですが？

A

まだまだ先の話ではありますが、海外にお店を出そうかと考えています。



▲海外を旅した写真も店内に置いています。



うらそえ WORKER 浦添で働く人

vol.2

「カフェオーナー」

カミーノ・デ・アラブ
オーナー

崎山 清貴さん(44歳)



世界をめぐるって故郷の浦添へ
こだわりのコーヒーでリラックスを提供

お店を始めたきっかけは
何ですか？

子どもの頃、親が営む写真館で、写真が出来上がって喜ぶお客さんの姿を見ていて、何かしらお客さんを笑顔にできるようなお店をやりたいとは思っていました。

初めてのお店は、沖縄振興開発金融公庫からの借り入れと開業前まで働いて貯めた貯金合計約300万円を元手に別の場所でもバーを開いていましたが、付き合いでお酒を飲むことも多く、健康面に不安を感じたため、昼間の仕事に切り替えることを考えていました。3年前にバーを手放し、外人住宅を改装して昼のお店のオープンに踏み切りました。

お店の名前の由来を
教えてください。

20〜30代の頃に、お金がないなりに世界一周をしました。その時に訪れたスペインで、キリスト教の巡礼の道(カミーノ・デ・サンティアゴ)を歩いた時にとっても感動したので「道」という意味の「カミーノ」を名付けました。「アラブ」は、当時、怖いイメージを持っていたアラブ圏の国の人たちにとってもやさしくしてもらい、イメージがガラッと変わりました。ツアーではなかった地元のひと

のつながりも多く、歴史的な建造物も見回っているうちに、中東やアラブ地方の人たちの文化や人柄が好きになったことがきっかけです。その後も何回か旅行していますが、料理としてお店では提供していないの今はアラブの雰囲気だけです。

仕事のやりがいは何ですか？

「美味しかった！また来ます。」と笑顔で言ってもらえた時は本当に嬉しいです。お店としては、隠れていると言われるくらい分かりにくい場所なので、最初はお客さんも少なかったのですが、リピーターや口コミといったお客さんとのつながりで増えてきています。海外に行ったときに会った人とも今でもつながりがあり、お店に訪ねてきたときにはとても嬉しいですね。

こだわりの何ですか？

東京のよく通っていた喫茶店で、サイフォン式のコーヒーに出会い、いつかはこういうお店を開きたいという思いがありました。友達の家に遊びに来たような、リラックスできるお店にしたいと、コーヒーの量や使う食器、店内に置く小物等にも少し工夫を凝らして雰囲気づくりをしています。